

【平成 23 年度ハートフル大曽根の振り返り】

1. 携帯型『あんしんカード』を作成、配布

非常時に情報を素早く伝えるための携帯型『あんしんカード』を作成しました。配布は町会ごとに対応しました。

| あんしんカード | | 港北区大曽根自治連合会 町会名 | |
|---------|-----------|--------------------|--|
| (ふりがな) | | | |
| 氏名 | | | |
| | 大正・昭和・平成 | 年生 | |
| 住所 | 横浜市港北区大曽根 | | |
| 電話 | | | |
| 主治医 | 病院 | 先生 | |

| 緊急連絡先 | | | |
|-----------|----|----|--|
| (ふりがな) | | 関係 | |
| 氏名 | | | |
| 電話 | 携帯 | | |
| (ふりがな) | | 関係 | |
| 氏名 | | | |
| 電話 | 携帯 | | |
| 伝えておきたいこと | | | |
| | | | |

2. 『イベントカレンダー（下半期）』を作成、回覧

大曽根地区の公認団体及びボランティアグループの予定をお知らせしました。

3. 『ザ・ニュース大曽根』の発行（年 11 回、回覧）

大曽根地区の情報をお届けしました。

4. 防災・防犯講演会の開催（2 回）

あんしんカード配布についてのアンケートからご意見を抜粋

- ・主旨を話すと皆賛同してくれた。・年配の方、ひとり暮らしの方は必要
- ・心臓病の方で外出時に苦しくなった経験があり、必要とのこと。
- ・お子さんに持たせたいとのご意見が多くありましたが、持たせたくない
とのご意見もありました。

【ハートフル大曽根構成メンバー13 名】（選出母体）代表：連合会長、町会長 2 名、ボランティアグループ 1 名、地区社会福祉協議会 1 名、民生委員児童委員協議会 3 名、青少年指導員会 1 名、スポーツ推進委員会 1 名、保健活動推進員会 1 名、大曽根小 PTA 会長 1 名、セサミ香房 1 名

【サポートスタッフ】港北区役所、港北区社会福祉協議会、樽町地域ケアプラザ

いつまでも住んでいたい町

ハートフル大曽根



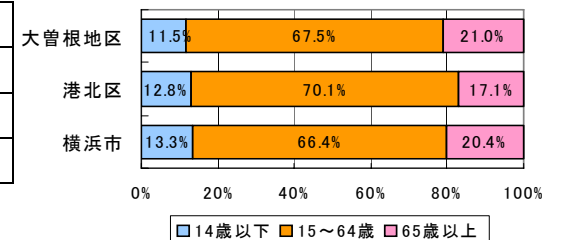
* 横浜市建築局都市計画基本図データにより作成
* 横浜市地形図複製承認番号 平 24 建都計第 9006 号

1 大曽根地区の世帯数と人口

| | 世帯数 | 人口 | 平均世帯人員 |
|-------|-----------|-----------|--------|
| 大曽根地区 | 5,345 | 10,813 | 2.02 |
| 港北区 | 158,507 | 327,279 | 2.06 |
| 横浜市 | 1,707,980 | 3,702,388 | 2.17 |

*平成 24 年 3 月末現在

年齢 3 区分別人口構成



『ハートフル大曾根』ってなに？

『誰もが安心して暮らせる町港北』を基本理念に、地域のネットワーク力で身近な福祉保健計画に取り組んでいます。それを港北区は『ひっとプラン港北』、大曾根地区は『ハートフル大曾根』と名付けました。

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| H18年 | H19年 | H20年 | H21年 | H22年 | H23年 | H24年 | H25年 | H26年 | H27年 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

ふれあいオール大曾根（第1期大曾根地区福祉保健推進事業計画）

7年前の暑い夏、体育館での地区懇談会とヒアリング調査から大曾根地区地域福祉保健計画は始まりました。

第2期計画の策定

ハートフル大曾根（第2期大曾根地区福祉保健推進事業計画）

【ハートフル大曾根の目指していく姿】

ひ
ろがる

- ・理解ーニーズにあった情報が得られる。
- ・担い手ー新しい担い手が地域活動に参加する。

つ
ながる

- ・知るー各団体の情報を知ることができる。団体間が交流することにより連携がとれる。

と
どく

- ・情報ー町内会広報紙により情報が届く。
- ・早期発見ー見守りや支援が必要な人の把握が町内ごとにてきている

【平成24年度のハートフル大曾根の取り組み】

《ひろがる》

- ・講演会の開催
障がい者理解のための講演会を開催。

《つながる》

- ・『イベントカレンダー』の発行
団体間の情報を知り、交流・連携ができる。
活用が出来るように発行部数及び配布方法を検討。

《とどく》

- ・『あんしんカード』の配布を継続的に推進
前年度配布時のアンケート集計を参考に、カードを配布。
- ・非常時の情報を素早く把握できるよう、あんしんカード家族版の作成を検討。
- ・『ザ・ニュース大曾根』の発行
月1回（1月号は休刊）発行、回覧
- ・大曾根会館に情報発信のためのボードを設置。